

広報 なかつ先

Nakatsue Village
NEWS

97
/ 3

No. 367

人口と世帯数

(2月末現在)

人口 1,429人(+7)
男 687人(+5) 68.9
女 742人(+2) 74.1
世帯数 479戸(+1) 47.9

これからの行事

- 小学校卒業式 3/22日
- 保育園卒園式 28日
- 保育園入園式 4/4日
- 蜂の巣湖桜まつり 6日
- 小学校入学式 9日
- 中学校入学式 10日
- 津江神社的ほがし祭 15日

発行 / 中津江村
編集 / 企画課

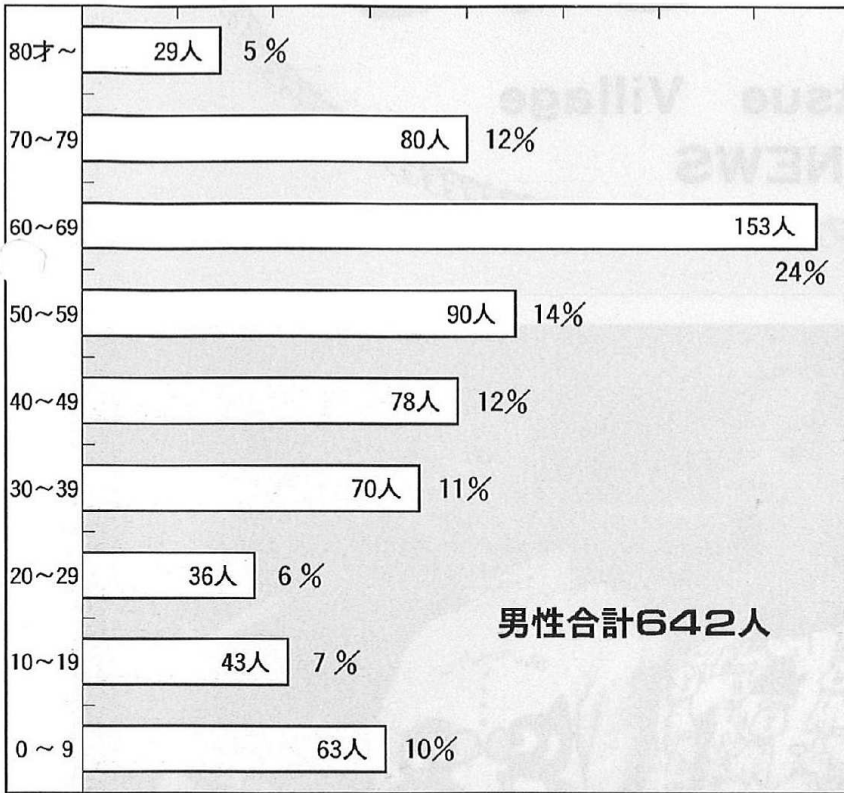


保育園生活発表会

調査報告

中津江村の 人口構成

男 平均年齢 / 48.6才



高齢化率 三二・五％に

昨年十月に行われた国勢調査。国の施策においても大きな基礎資料となっているこの国勢調査で、中津江村が大分県一、小さい村になったのはこの広報でもお知らせしたとおり。今回は、その詳しい内容について、年代ごとの構成をお知らせします。

上の人口割合、いわゆる村の高齢化率は三二・五％となり、大分県下では七番目、日田郡では最も高齢化が進んでいることになりました。

十歳刻みの年代でも、一番人口が多いのが、男女ともに六十代、二十％を越えています。ちなみに女性の平均年齢は年齢は男性よりも四歳以上高くなっており、六十五歳以上の人口も男性より百人近く多くなっています。

熱列応援

私インターンです！



有馬悦子さん

インターン—中津江以外の出身の人が村へ定住すること。最近の自然志向・田舎志向で、中津江でもこちらに定住されている方が増えてきています。昨年村に住んでおられる有馬さんも、その中のお一人。若い女性だから、というわけでは決まておりませんが、ちょっとお話を伺いに出かけてみました。

—中津江村の印象はいかがですか？

「とても親切な方ばかりです。緑が一杯でいいところですね。」

—ところで、こちらに来られたきっかけは？

「インターン関係の就職情報を見て、東京でのフェアに参加したのがきっかけです。」

—以前は何をしていましたか？

「出身は千葉で、船橋に長く住んでいました。千葉では営業関係の事務の仕事をやっていました。」

—こちらを選ばれたのは？

「一度地方に住んでみたかったのと、木材関係の仕事がやってみたくて。」

—それで森林組合に入られたのですね。仕事はどうですか。

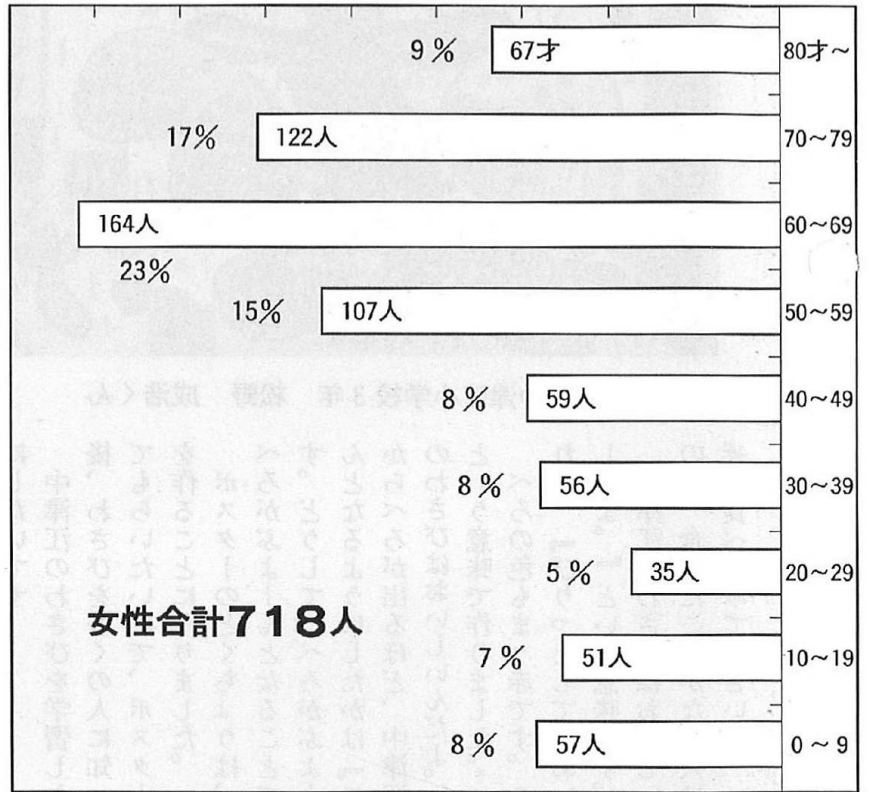
「ログの部品のシミ付けや穴を開ける作業をやっているのですが、まだ分からないことばかりです」

総人口……**1,360人**
 世帯数…… **477戸**
 平均年齢…… **50.8才**
 15才未満…… **204人** (15.0%)
 15～64才…… **714人** (52.5%)
 65才以上…… **442人** (32.5%)

平成7年

国勢

女 平均年齢 / **52.8才**



また、六十五歳以上の高齢者で、一人暮らしをされている方の割合も公表されています。中津江村では、全体で六十二名。内女性が五十一名という事ですが、これは全県的な傾向のようです。

逆若者層、十五歳未満の全人口に締める割合は十五%。各年ごとの数は十人を少し越える程度ですが、最近、特に五歳までの数は年齢でかなり差が出てきています。少ない年では年に四人という数字も見られます。全国的な少子化という影響がここにも現われているのではないのでしょうか。その上の年代、十五歳から二十歳までは、ほとんどが村外に出ているということもあり全体で十人しかいません。

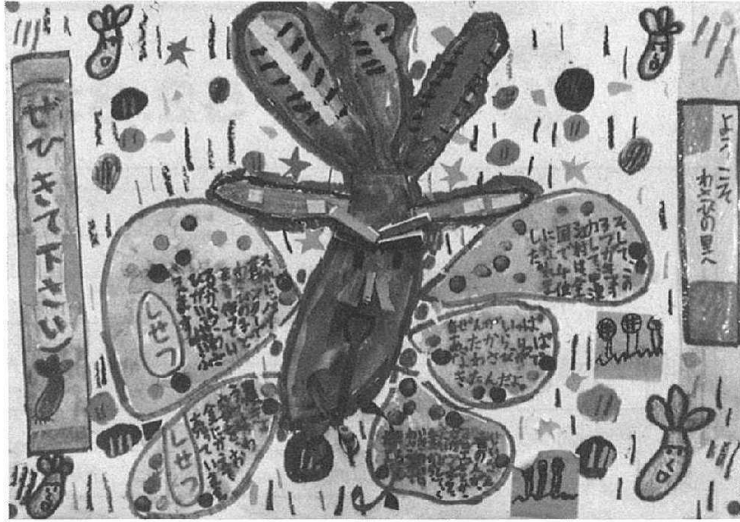
全体的には、言うまでもなく高齢化と少子化が突出しているということでしょう。



— 休日はどう過ごされますか？
 「今は仕事で忙しくて、休日もここで作業していることが多いですね。」
 — 友達はできましたか？
 「職場の人を中心にですが、とても仲良くしてもらっています。」
 — 買い物なんかはどうしてるんですか？
 「免許は持ってるんですが、車を持っていないので職場の人が隣町などに買い物に連れていってくれます。」
 — 中津江に永住されるんですか？
 「今の所帰るつもりはありません。でも今試用期間中なので。四月以降どうなるか、それが一番気になります。」
 — ご結婚の予定は？
 「まだ全然考えていませんが、縁があればこちらでも……と考えています。」
 とても丁寧に、しっかりと話をされる有馬さん。気軽に行ったつもりがこちら緊張してしまいました。大きな瞳がとても印象的な女性です。これからも仕事に、プライベートに頑張ってください。

ぼくらの“むら”の宝もの

“中津江村のわさび作り”



▲中津江小学校3年 松野 成浩くん

中津江小学校三年生が、中津江のわさび作りについて勉強しています。自分たちの村について調べ、村の将来のことについて考える事で、地域の一員として少しでも自覚を持ってもらおうと、担任の河津先生の指導の下、中津江の特産品のひとつ『わさび』について自分たちで研究を続けました。その結果が今月から紹介するこの絵と作文です。絵の原本は栃原のバス待合所に展示しています。子供たちの工夫が一杯の絵をぜひ、ご自分の目でご覧ください。

中津江のわさびは おいしいよ

わさび作りは、J A 津江、生さん者、パイオセンター、自ぜん、A P があせを流しながらも、わさびを作っているところを見て、ぼくはおとなになつたら、わさびを作る生さん者になりたいと思いました。生さん者に、もしなれたら、日本で一番おいしいわさびを作つて、中津江村を有名にしたいです。

中津江のわさびを学習した後、わさびを多くの人に知ってもらいたいので、ポスターを作るようになりました。

ポスターのとくちようは、べろがぶよーんとなることです。どうして、べろがぶよーんとなるようにしたかは『口からべろが出るほど、中津江のわさびはおいしいんだよ。』という意味で作りました。

べろの色もまっ赤です。これは、『ぴりっとして、おいしいよ。』という意味です。

中津江のわさびはおいしいので、食べたことがない人は、ぜひ食べてみてください。

差別のない明るい 村づくりをめざして

家族全員で考えてみませんか

現代の日本は、めざましい経済発展を遂げ経済大国となりました。表面的には民主的・平和的・文化的社会といわれていますが、私たちの身の回りには、部落差別を始め、いろいろな差別があります。そこで次のことについて家族全員で考えてみませんか。

一、「子供のくせに」、「女のくせに」、「年寄りだから」

二、「能力や人格を軽視する考え方では」「世間体が」、「親せきが」

三、「男は上座」、「女は下座」

四、「嫁にもらう」、「嫁にやる」

五、「よそ者のくせに」

六、「家柄がちがう」

………人格を無視した差別を支える考え方ではこのような考え方や習慣は、私たちの人権を軽視したり、人権を侵害することにつながります。

※基本的人権を保障する憲法

「全ての国民は法の下に平等であつて、人権・信条・性別・社会的身分・または門地により、政治的・経済的または社会的関係において差別されない。」

——日本国憲法第十四条——

村のできごと Village News



保育園生活発表会

二月二十五日、村民ホールで、なかつえ保育園児の生活発表会が行われました。子供たちのかわいい踊りや、楽器の演奏、合唱など日頃家庭では見せない一面を大いにアピールしていたようです。会場では、お母さん方が我が子の成長をカメラやビデオに納めようと、必死で奮闘。子供が少なくなり、保育園の果たす役割も以前とはかなり違ったものになってきているようで、行政においても就学前の子供の問題は、重要な施策の対象となっています。それにしても、保育園に通っていない我々の年代にはうらやましい限りです。

地域ブランド化作戦講演会

津江地域特産ブランド化作戦と題し、2月3日、日田市で津江3村の産業振興のための会議が行われました。午前中は津江地域特産品の開発について、地域興しの先陣を切っておられる3名の方々がそれぞれの立場で提言を行い、午後はその内のお一人、平岡氏による講演会が開催されました。各村から来場した農業を中心とする仕事に頑張っておられる方々は、どうすれば自分達の作っているものがうまく認識され、どういう売り方をしていけばよいのかと言った具体性のある話に真剣に耳を傾けていました。自分たちでは不利だと考えていた山間地域も目のつけどころを変えれば逆に地域として有利な条件であること、消費の情報を的確に収集し、ターゲットを絞った作り方、売り方が必要なようです。



三津江農業委員会合同研修会

— 農業振興で期待されるむらづくり —



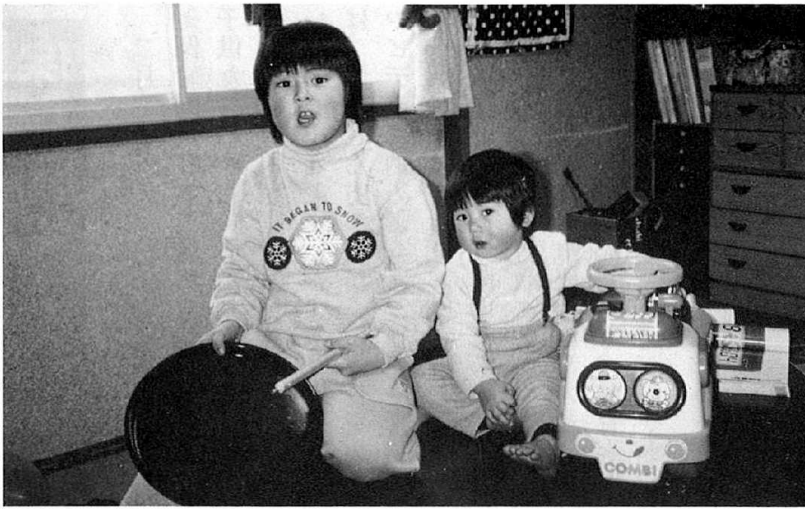
3月5日、鯛生スポーツセンターで三津江の農業委員会の合同研修会が開催され、約30名の委員が今後の農業についての話し合いを行いました。研修のテーマは「津江地域の豊かな自然と農業の共生によるむらづくり」。このテーマで、大分県の農業農村活性化推進協議会のアドバイザー、那須吉之氏が講演。那須氏は長年農業改良普及所で普及員として活躍されており、日田地区でもその手腕を発揮されたとあって、地域の気候や土壌についても詳しく、それこそ地域に根ざした指導を行ってきた方です。講演では、ビデオを使ったり先進地の事例を紹介したりしながら約2時間に亘って農業振興を通した村づくりについて、熱く話されました。今こそ、過疎化に住む我々が共に手を携え、共に考えていかなければならない時でしょう。

三津江農業委員会研修会

保健婦

ノートより

心輝いています！ VOL.1



▲良輔くんと和哉くん

森友まり子さん（栃原）は、森友家に嫁いで9年、7年前自宅のベランダから転落して下半身不全マヒになった母チエノさん、自閉症の長男良輔くん（7才）、次男和哉くん（1才半）、そして社会福祉協議会に勤めるご主人輝彦さんとの5人暮らしです。

1日の大部分をベッドで過ごすチエノさんの世話をしながら、今年度から小国の養護学校に通学する良輔くんを送り迎えする、忙しい毎日を送るまり子さん。最近では次男の和哉くんも歩くのが上手になり、目が離せなくなりました。

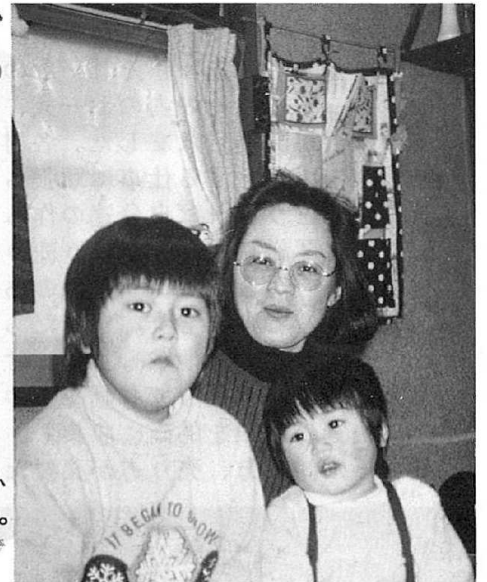
障害を持つ2人の家族の世話をするまりさんも、以前は本当に苦しい時期がありました。特に良輔くんの自閉症を頭でなく体で受けとめるまでのまりさんの心の葛藤は、どんなに厳しかったことでしょうか。それを乗り越えかけたとき、次男の和哉くんの妊娠がありました。



▲リハビリ中のチエノさん

まり子さんからのメッセージ

- ・こんな子供がいることを、皆さんも知ってください。
- ・良輔はパッと走り出すことがあります。道路で見かけたらつかまえて止めてください。
- ・地域の活動にもなるべく参加したいので、声をかけてください。



チエノさんからのメッセージ

- ・いつも家にいます。声をかけてください。お話ししたいです。
- ・家の中で歩く訓練に頑張っています。
- ・毎週火曜、金曜日はヘルパーさんが来ますし、民生委員さんもよく声をかけてくれます。

（下半身不全マヒとは）

背骨には神経が集中していますが、腰への強いショックで神経が傷つき、下半身の力や感覚が弱くなります。チエノさんは両ツエで支えてやっと歩けます。毎日数回の激痛に耐えながら頑張っています。

（自閉とは）

外界に関心を示さず、自己の世界に閉じこもる状態。良輔くんは最近、電話のデをしゃべるなど外に心を開き始めています。カメラ目線もグッドですね。

よちよちあるき



石鞍 ^{あおい}葵ちゃん
(下笠)

お母さん日く、「デブで一す」よくしゃべるし、よく食べます。最初に覚えた口癖がなんと「しゃーしい」もちろん、写真を撮るときにもいわれました。

松野 ^{ふみか}史佳ちゃん
(田の原)

史佳ちゃんもお母さんにいわせると太ってるそうですが、いえいえとんでもない。普段は、いつもおばあちゃんと一緒に遊んでいる、とっても「よい子で一す」



1月27日、津江老人福祉センターで平成8年度の「丸ごと座談会」が行われました。今回、中津江村社会福祉協議会が主催して行われたこの事業は、今年度から新たに実施されているもので、老人福祉計画、障害者計画、エンゼル計画など様々な計画の見直しをはかる重要な時期にある現在、とても意義のある事業です。

1回目の座談会には、主催の社会福祉協議会を始め、民生委員、福祉委員会代表、役場福祉担当者のほか、ボランティア団体の山びこ会、七日会からも出席があり、今後の福祉問題などを中心に熱心な意見交換が行われました。

福祉丸ごと座談会

出産祝金授与される

今年一月一日から実施されている定住促進条例。その第一号の支給となる出産祝い金の授与式が、二月十四日、対象となる四組の夫婦を招いて役場で行われました。過疎化に歯止めを、若者の定住をと制定されたこの定住促進条例。祝い金の授与に先立ち、坂本村長から、「今年を村の定住促進の元年と位置づけたいと思います。これからもたくさん子供を生んで下さい。」とお祝いの言葉が。出産祝い金をうけた方々は、一様に喜びの様子で、子供の保険やビデオの購入に充てるなど、使途も様々なようです。これを契機に皆さんの地域にも赤ちゃんの産声が聞こえるようになると良いのですが。



イアンの“風”

『もう二度と……』

by Ian Cufley

このコーナーでは、毎回その内容を何にするか、いつも苦労しています。そして、それはたいてい、急に頭にひらめいてきます。今回、このひらめきは病院の診察室でおこりました。私の人生の中でも恐い経験のひとつ、日本の病院でのこと……

2つの選択に立たされていました。良い医者について2日間くらい待つのか、それとも余り良くない医者ですぐみてもらうのか。おもしろいけど難しい選択！結局は二つの道、両方選択したんですけど。

悪夢は待合い室で始まりました。私のどこが悪いのかじっとみている他の患者の前で、看護婦に自分の体の具合を話さなければならないなんて。プライバシーなんてないんじゃない？

悪夢はまた、検査室でも。頭に付けた電極が一番恐かった、まるでホラー映画の始まりのように。映画が一番恐くなる前に私は逃げだそうなんて考えていました。

でも本当の恐怖は診察室で待っていたのです。野戦病院と自動車工場の生産ラインを混ぜ合わせたような変な場所。他の人の治療を見る診察室なんて変だし、不愉快で、危険で、恐ろしいものじゃないですか。こんなに混んでいる部屋で、そこいらの通行人を刺すかのような注射針を手に動き回る看護婦や、医者か看護婦が落としたんでしょう、血のついた器具を拾い上げる患者。私の鼻にいれられようとしている物は、ほんとにきれいなもの？診察室を見渡すと……器具が錆びるのには何年かかるんだろう。逃げるには今しかない。

その上もっと悪いことに、子供は泣き叫ぶわ、顔から血を吹き出してる人がいるわ。私の前の10人の患者は一樣に鼻に大きな鉄のチューブを差し込んでいる。私もそうされるに違いないと確信したとき、本当に気分が悪くなり吐きそうになってしまったんです。私の確信は確実なものとなりました。ああ今度は手が震えだした……

次に半強制的な点滴。今までの人生で必要なかったからそう考えるのも無理はない……これ本当にやらなくちゃいけないの？どこに横になるかというのも、次のタフな選択です。できるなら血のついたところは避けて！隣のおばちゃんはお尻に注射が必要らしい、プライバシーが必要？いいじゃないの、みんなの前でズボンを降ろしてお尻を見せれば。

私は運が良かったらしい。4時間半で全てが済んだし、薬もいっぱいもらった。多分私の誕生日か何かとってくれたのだろう、ほんとにそんなに薬が必要かい、健康にいいのかしらね。おかげで今ずっと、ハイな状態でいられるけど。

どんな悪い経験でも、どこかいいところがあるはず。そう、今私は分かった。鼻から空気を入れられると耳から出てくるんだね。私の経験は友人から私の孫の代にまで伝えられるものになっていくでしょう。次に行くまで、二度と行かないから……

スポーツ安全保険に加入を

スポーツにけがはつきもの。もしものときのために、スポーツ保険に加入しましょう。

◇対象となる団体

5名以上のグループ

◇対象となる事故

グループ活動中の事故、往復途上中の事故

◇保険期間

平成9年4月1日から
平成10年3月31日

◇受付

平成9年3月1日から受付中

◇保険料

- ・中学生以上のグループまたは文化・ボランティア団体
1人年額400円
- ・老人クラブ団体(60歳以上)
1人年額600円
- ・成人のスポーツ団体
1人年額1,300円

◇問い合わせ

B & G 海洋センター
(☎56-5266)

地方消費税が導入されます

地方分権の推進や地域福祉の充実のため、地方税源の充実を図る目的で、4月1日から地方消費税が導入されます。

地方消費税の税率は、国の消費税額の25%で、消費税と地方消費税を合わせた実質の税負担率は5%です。

地方消費税の2分の1相当は市町村へ交付されることとなっています。

お知らせ

技能検定のお知らせ

技能検定は、労働者の持っている技能を一定の水準により検定し、これを公証する技能の国家検定制度です。昭和34年から実施されているこの制度は、今までに2万人を超える人が合格し、それぞれの分野で活躍しています。合格すれば技能士と称することができ、各種特典が与えられます。

◇申請書受付

平成9年4月4日～17日

◇試験

- ・実技…6月16日～9月7日
- ・学科…8月24日他全4日間

◇問合せ・申込

大分県職業能力開発協会(0975-42-3651)

国の教育ローン取扱中

◇利用できる人

高校・短大・大学・専修学校等に入学・在学される方の保護者または本人

◇融資額

1人につき150万円以内

◇使途

- ・入学資金
- ・在学資金

◇利率

年3.1% (1月22日現在)

◇返済期間

8年以内

◇相談窓口

国民金融公庫別府支店
(☎0977-25-1151)

大学奨学生募集

大分県奨学会では次のとおり平成9年度大学奨学生を募集します。

◇募集人員…1年生100人

◇出願期間

平成9年3月21日～4月21日

◇貸与金額(月額)

- ・国公立大学 38,000円
- ・私立大学 43,000円

◇受付及び問合せ

(財)大分県奨学会
(0975-36-1111)

課税台帳の縦覧について

固定資産税の課税台帳の縦覧を次の日程で行います。

◇縦覧期間

4月2日～4月21日
午前8時30分から午後5時
(土、日曜、休日は除く)

◇場所

中津江村役場

◇問い合わせ

役場税務課

自動車税にご注意

自動車税は4月1日現在の登録名義人に課税されます。

- ・車を他人に譲り渡した
- ・車検の有効期限が切れて使用しない

このような場合、陸運支局で移転登録や抹消登録を済ませないと、自動車税はいつまでもあなたに課税されます。

また住所変更した場合も、届けが必要です。詳しくは、大分県自動車税事務所(0975-52-1121)へ

〔慶弔〕

○お誕生おめでとう

下笠 児塔 誠司くん

原 永瀬 由希ちゃん

鯛生 一月二十三日(基司)

一月二十九日(信太郎)

●お悔やみ申し上げます
力ネ子様

〔御寄付お礼〕

■社会福祉協議会へ

合谷 立次 五〇〇〇円

松尾 一正 三〇〇〇円

平 倉守 三〇〇〇円

見舞返し 渡辺 今朝光 三〇〇〇円

田の原公民館へ 石貫 福市 二〇〇〇円

石貫 福市 二〇〇〇円

寸志 石貫 福市 二〇〇〇円

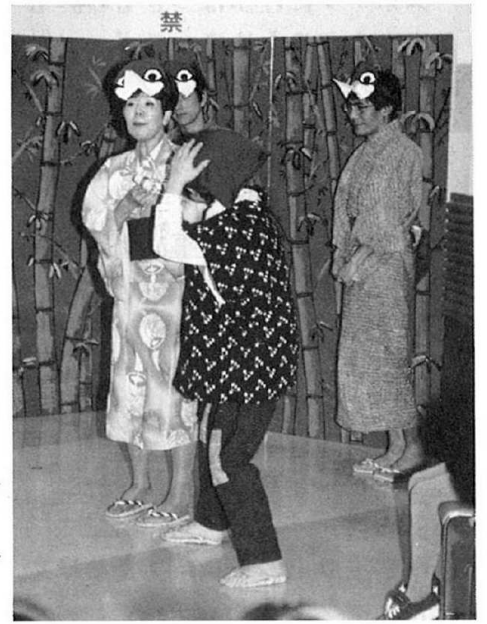
堤公民館へ 香典返し 平 倉守 二〇〇〇円

八所公民館へ 香典返し 合谷 立次 五〇〇〇円

第7回 中津江村女性のつどい

～あなたが主役～

三月二日、今年七回目となる女性のつどいが、村内を中心に多くの女性を集めて鯛生スポーツセンターで開催された。女性の夢とやる気は毎回ふくらんでいるようで、今年も様々な形でその花を咲かせようとしている。午前中に行われた実践発表では、前々回のつどいで提案された環境問題に、一歩踏み込んだ内容での提言となったようだ。商工会婦人部で実際に活動し、実績の上がっている廃油石けんづくりの実践報告がなされ、国際交流員を中心に行っている環境を考える会の活動について、また社会福祉協議会のデイサービスで実施しているリサイクル活動の内容についての発表がなされた。改めて外へ向けて発信することで、



英語劇「舌切り雀」▶



◀ 栃原有志の見事なダンス

知らない人への告知はもちろん、活動している自分たちへの再啓発にもなったのではなからうか。

婦人会を中心とした地元料理で昼食を済ませた後は、お馴染みのアトラクション。今回の集いのメインとも呼べるような英語での演劇も登場して、会場をわかせた。英会話教室のメンバーを中心に編成されたグループの出し物は、日本の昔話「舌切り雀」とてもかわいい雀(?)の見事な演技もさることながら、英語でのせりふもバッチリ。さて来年は何が飛び出すのやら。アドバイザーからも、女性のネットワークと実行力に驚かされたとのコメントがあり、益々女性の力が村政にも活かされるべきが来ているようである。

募集

○ B & G 少年の船

B & G 中津江村海洋センターでは、平成九年度の海外体験航海「少年の船」の参加者を募集します。海洋性レクリエーション活動等をして豊かな人間形成、海に対する理解を深めるために行っている高齢のものです。

・ 期間 七月二十二日～七月二十八日

・ 対象及び募集人員 中学生三名

・ 申込み・問合せ B & G 中津江村海洋センターへ

(五七一五二六六)

○ 県政モニター

大分県では県政に対するご意見、アイディアなどをお寄せいただく県政モニター、「エコーメンバー」を募集します。ハガキか封書に住所・氏名・年齢・電話番号・性別・職業・「応募の動機と関心のあるテーマ」を百字程度で記入して左記へお送り下さい。

- ・ 大分市大手町三十一ー一
- ・ 大分県広報公聴課
- ・ 四月十四日から四月末日まで受け付けています。

つれづれ

同じ題材でも、その切り口によって我々の目には違って見えることが数多くある。広報でも、一つのテーマをどんな手法で切り開いていくか(そんな大袈裟でもないか)多少は考えているつもりである。どちら側に立つのか、これだけでも大きく違うのは言うまでもない。村報ならまだしも、マスメディアだと、その影響力は強大なものである。つい最近、同じ日に違う二つの局で、世界に散在する地雷に関する報道がされていた。一方は、地雷を安全に撤去する技術を日本のある会社が生み出したことを。他方の局は、今でも地雷をつくる予算が日本でも認められている現状で、同じ題材でも報道する立場で、こんなにも違うものなのか。金太郎アメリみたいなどこを切っても同じ顔では面白くないが、続いて起こった原発事故の生の報道が空々しく目に映る。まあ、たまには自分に不似合いなこんな題材を取り上げるのも、情報を受ける側に立つためにも必要だろう、たまには編集後記らしく終えることができそうだ。